

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年8月12日

【四半期会計期間】 第73期第3四半期(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

【会社名】 粧美堂株式会社

【英訳名】 SHOBIDO Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 寺田正秀

【本店の所在の場所】 東京都港区港南二丁目15番1号

【電話番号】 03 - 3472 - 7890

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼総務人事部長兼経理部長 斉藤政基

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区西天満六丁目4番18号

【電話番号】 06 - 6365 - 7001

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼総務人事部長兼経理部長 斉藤政基

【縦覧に供する場所】 粧美堂株式会社 大阪本社
(大阪市北区西天満六丁目4番18号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第3四半期 連結累計期間	第73期 第3四半期 連結累計期間	第72期
会計期間	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2020年10月1日 至 2021年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年9月30日
売上高 (千円)	10,869,666	10,434,684	13,939,993
経常利益 (千円)	263,590	402,494	148,457
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	153,261	247,347	60,861
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	185,251	333,378	45,578
純資産額 (千円)	5,281,889	5,261,217	5,142,216
総資産額 (千円)	14,011,646	13,512,102	13,255,973
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	11.43	18.57	4.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	37.3	38.3	38.3

回次	第72期 第3四半期 連結会計期間	第73期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	3.85	3.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動としては、2020年10月1日付で、ビューティードア・ホールディングス株式会社の全株式を取得したことにより、同社および同社の100%子会社であるビューティードア株式会社を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。また、2021年4月30日付で、当社の連結子会社であった台湾粧美堂股份有限公司の全株式を譲渡したことにより、同社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年10月1日～2021年6月30日）におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、3回目の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施されるなど、社会経済活動が大幅に制限される状況が続きました。また足許においても7月に東京都において4回目の緊急事態宣言が発令され、高齢者を中心にワクチン接種が進行しているものの、社会全体としては未だに厳しい状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、引き続き商品・取引先別に採算性の見直しを継続したことに加えて、上記のような新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務の浸透による当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会の減少や取引先小売業・テーマパーク等への休業要請・営業時間の短縮など厳しい状況が続いた結果、対前年同期比4.0%減の10,434,684千円となりました。自社企画商品の売上は7,946,988千円（対前年同期比0.6%増）とほぼ横ばいとなり、構成比については76.2%と前年同期の72.7%から大きく上昇しております。差引売上総利益額は3,172,063千円で対前年同期比1.3%減となりましたが、前期から取り組んでいる取扱い商品の見直し効果が着実に出てきており、同利益率は30.4%と対前年同期比0.8ポイント上昇しました。また販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、販促費について費用対効果を重視し選別的に支出した結果、対前年同期比6.2%減の2,794,838千円となり、営業利益は対前年同期比61.9%増の377,224千円、経常利益は対前年同期比52.7%増の402,494千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は247,347千円（対前年同期比61.4%増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症予防から生活必需品となったマスク類やアルコールハンドジェルなどの衛生関連商材、また注力カテゴリーであるネイル関連やキッズコスメなどが好調に推移したものの、外出自粛傾向が続いていることでパフ、メイクブラシなどメイク関連用品の不振もあったことから、6,632,797千円（対前年同期比0.7%減）とほぼ横ばいとなりました。

コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外でのコンタクトレンズ売上は拡大傾向が続くものの、国内では消費者の外出自粛が続いていること等からコンタクトレンズの需要が低迷したことにより、1,884,540千円（対前年同期比10.0%減）となりました。

服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、エコバックやポーチ関連の売が増加したものの、トートバッグやリュックサック、サイフ類の売が減少したことにより、1,261,430千円（対前年同期比1.3%減）となりました。

その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、タオル類の売が減少したほか、ギフト商品の企画数の絞り込みを継続したことから、655,916千円（対前年同期比19.9%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて256,128千円増加し、13,512,102千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて110,557千円増加し、9,709,851千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が148,990千円、有価証券が300,000千円、商品及び製品が49,913千円増加したことに対し、その他が404,483千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて145,571千円増加し、3,802,251千円となりました。

これは主に、土地が61,800千円、のれんが266,483千円増加したことに対し、投資有価証券が88,082千円、投資その他の資産のその他が91,263千円減少したこと等によるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて137,127千円増加し、8,250,884千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて278,263千円増加し、4,359,187千円となりました。

これは主に、短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が75,000千円、その他が80,028千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて141,136千円減少し、3,891,696千円となりました。

これは主に、資産除去債務が38,849千円、その他が28,381千円増加したことに対し、長期借入金が217,000千円減少したこと等によるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて119,000千円増加し、5,261,217千円となりました。

これは主に、利益剰余金が113,934千円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

記載すべき重要な事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,640,000
計	48,640,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,410,000	13,410,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	13,410,000	13,410,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年4月1日～ 2021年6月30日		13,410,000		545,500		264,313

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2021年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2021年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 137,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,269,500	132,695	単元株式数 100株
単元未満株式	普通株式 3,300		
発行済株式総数	13,410,000		
総株主の議決権		132,695	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式77株が含まれております。

【自己株式等】

2021年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 粧美堂株式会社	東京都港区港南二丁目 15番1号	137,200		137,200	1.02
計		137,200		137,200	1.02

(注) 2020年11月11日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期会計期間において自己株式62,900株を取得いたしました。その結果、当第3四半期会計期間末日現在における自己株式数は200,177株（発行済株式総数に対する所有株式の割合1.49%）となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年10月1日から2021年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,652,813	4,623,192
受取手形及び売掛金	2,326,544	2,475,534
有価証券	200,000	500,000
商品及び製品	1,360,249	1,410,162
原材料及び貯蔵品	90,372	105,422
為替予約	155,313	184,424
その他	816,498	412,014
貸倒引当金	2,496	900
流動資産合計	9,599,293	9,709,851
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,565,599	1,627,399
その他(純額)	1,272,262	1,278,820
有形固定資産合計	2,837,862	2,906,220
無形固定資産		
のれん		266,483
その他	50,773	42,994
無形固定資産合計	50,773	309,477
投資その他の資産		
投資有価証券	301,725	213,642
その他	467,289	376,025
貸倒引当金	969	3,116
投資その他の資産合計	768,044	586,552
固定資産合計	3,656,680	3,802,251
資産合計	13,255,973	13,512,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694,318	1,754,855
短期借入金		100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,811,000	1,886,000
未払法人税等	7,273	33,899
賞与引当金	141,672	76,644
返品調整引当金	25,500	26,600
その他	401,160	481,188
流動負債合計	4,080,924	4,359,187
固定負債		
長期借入金	3,820,500	3,603,500
役員退職慰労引当金	93,350	101,983
資産除去債務	32,515	71,365
その他	86,466	114,848
固定負債合計	4,032,832	3,891,696
負債合計	8,113,756	8,250,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,095,335	4,209,270
自己株式	87	81,051
株主資本合計	4,905,061	4,938,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,775	53,418
繰延ヘッジ損益	104,512	123,544
為替換算調整勘定	14,316	64,641
その他の包括利益累計額合計	177,604	241,605
非支配株主持分	59,551	81,581
純資産合計	5,142,216	5,261,217
負債純資産合計	13,255,973	13,512,102

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,869,666	10,434,684
売上原価	7,674,446	7,261,520
売上総利益	3,195,219	3,173,163
返品調整引当金戻入額	41,400	25,500
返品調整引当金繰入額	23,300	26,600
差引売上総利益	3,213,319	3,172,063
販売費及び一般管理費	2,980,301	2,794,838
営業利益	233,017	377,224
営業外収益		
受取利息	4,956	4,386
受取配当金	5,254	4,155
受取手数料	7,231	7,313
不動産賃貸収入	44,369	81,276
為替差益	8,903	18,163
その他	18,310	3,289
営業外収益合計	89,024	118,585
営業外費用		
支払利息	17,321	17,814
不動産賃貸費用	40,555	74,509
その他	574	992
営業外費用合計	58,452	93,316
経常利益	263,590	402,494
特別利益		
投資有価証券売却益	30	
特別利益合計	30	
特別損失		
関係会社整理損		66,192
特別損失合計		66,192
税金等調整前四半期純利益	263,620	336,301
法人税、住民税及び事業税	44,141	48,843
法人税等調整額	64,454	25,457
法人税等合計	108,595	74,300
四半期純利益	155,025	262,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,763	14,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,261	247,347

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	155,025	262,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,247	5,356
繰延ヘッジ損益	42,724	19,032
為替換算調整勘定	15,746	57,700
その他の包括利益合計	30,226	71,377
四半期包括利益	185,251	333,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,785	311,348
非支配株主に係る四半期包括利益	466	22,029

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、ビューティードア・ホールディングス株式会社の全株式を取得したことにより、同社および同社の100%子会社であるビューティードア株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった台湾粧美堂股份有限公司の全株式を譲渡したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)には2021年9月期において徐々に収束していくという仮定を置き会計上の見積りを行っておりましたが、緊急事態宣言の再発令や特定地域においてまん延防止等重点措置が実施されるなどの状況を踏まえ、当社グループの業績に対する影響の不確実性を考慮し改めて検討を行いました。その結果、重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
当座貸越極度額の総額	3,121,548千円	3,222,144千円
借入実行残高	千円	100,000千円
差引額	3,121,548千円	3,122,144千円

(四半期連結損益計算書関係)

関係会社整理損

当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

関係会社整理損は、連結子会社である台湾粧美堂股份有限公司の全株式を譲渡したことに伴い発生したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
減価償却費	105,872千円	142,482千円
のれんの償却額	千円	21,606千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月15日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金
2020年5月19日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2020年3月31日	2020年6月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年11月17日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2020年9月30日	2020年12月8日	利益剰余金
2021年5月19日 取締役会	普通株式	66,363	5.00	2021年3月31日	2021年6月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

当社グループは、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

事業分離

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年3月25日開催の取締役会決議に基づき、2021年3月30日付で連結子会社である台湾粧美堂股份有限公司(以下、「台湾粧美堂」)の全株式を昕琦科技股份有限公司に譲渡する旨の株式譲渡契約書を締結し、2021年4月30日に株式譲渡を行いました。これに伴い、台湾粧美堂を連結の範囲から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

昕琦科技股份有限公司

(2) 分離した事業の内容

コンタクトレンズの台湾国内販売及び輸出

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、2015年7月22日に海外市場拡大の拠点として、台湾に台湾粧美堂を設立いたしました。現地の大手ドラッグストアやコンビニエンスストアを中心に、コスメコンタクト®の販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中期的にも業績回復は見込めないものと判断し、当社が保有する台湾粧美堂の株式全てを譲渡いたしました。

(4) 事業分離日

2021年4月30日(みなし売却日2021年4月1日)

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損失の金額

66,192千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	102,438千円
固定資産	86,813千円
資産合計	189,251千円
流動負債	8,811千円
負債合計	8,811千円

(3) 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社整理損」として特別損失に計上しておりません。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	40,687 千円
営業損失	22,720 千円

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年10月 1 日 至 2021年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益	11.43円	18.57円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	153,261	247,347
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	153,261	247,347
普通株式の期中平均株式数(株)	13,409,851	13,317,764

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第73期(2020年10月1日から2021年9月30日まで)中間配当について、2021年5月19日開催の取締役会において、2021年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	66,363千円
1株当たりの金額	5.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2021年6月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年 8月12日

粧美堂株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 林 一 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 葉 山 良 一 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている粧美堂株式会社の2020年10月1日から2021年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年10月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、粧美堂株式会社及び連結子会社の2021年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。